



☆第59回愛知県統計グラフコンクールについて
☆研修会のお知らせ
☆授業のひとコマ

回覧用
↓
学校回覧用

第59回愛知県統計グラフコンクールについて

例年、岡崎市から多数の作品応募があり、県、全国のコンクールでも作品の優れた点が認められています。今年も、すでに統計グラフ指導を始められた学校が何校もあると聞いています。今年度も、たくさんの応募をお願いします。

作品応募は、市企画課統計班が取りまとめてくださいますので、提出先、締め切り日などご注意ください。

○提出先 岡崎市役所 企画財政部企画課 統計班(分館2F)

○締切 平成27年 8月27日(木)

○提出内容 作品、出品目録総括表、出品目録 ほか(募集要領参照)

その他、詳細は、統計グラフ担当者あてに送付された募集要領、市HP統計ポータルサイト市HP統計ポータルサイトを
ご覧ください。<http://www.city.okazaki.aichi.jp/tokei-portal/tokei000.htm>

[応募要項はこちらからどうぞ。\(クリック\)](#)

[愛知県の昨年度の優秀作品を紹介しています。こちらからどうぞ\(クリック\)](#)

(文責 竜美丘小 畑 小普)

研修会のお知らせ

◎授業力・教師力アップセミナー

<基礎編>

日時 7月30日(木)

会場 竜美丘会館 301号室

9:00 受付

9:15 開講式

9:25 講義・実習①「算数・数学の授業力向上①」

10:40 講義・実習②「算数・数学の授業力向上②」

<講師> 東京学芸大学附属竹早中学校 教諭 小岩 大先生

11:40 閉講式

<応用編>

○小学校算数科教育

日時 8月5日(水)

会場 市総合学習センター2F 教育研究室1

日程 8:30 受付、(午前の部)8:50 説明、9:00~12:00
(午後の部)13:00 説明、13:10~15:10

講師 蜂須賀 渉先生

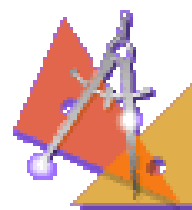
○中学校数学科教育

日時 8月6日(木)

会場 市総合学習センター3F 教材開発室Ⅱ

日程 8:30 受付、(午前の部)8:50 説明、9:00~12:00
(午後の部)13:00 説明、13:10~15:10

講師 加藤 嘉一先生



◎全国算数・数学教育研究(北海道)大会 ▶▶▶ [詳しくはこちらをどうぞ。](#)

日時 8月6日(木)、7日(金)9:30~

会場 札幌市立桑園小学校、札幌市立向陵中学校

☆提案者として岩瀬竜弥先生(連尺小)、神谷尚希先生(矢南小)、岩野慎也先生(井田小)が出席されます。
参加される予定の先生は、指導員まで連絡をしてください。

◎三河教育研究会算数・数学部豊川大会

日時 8月5日(水) 受付9:20~

会場 豊川市御津文化会館(ハートフルホーム)

☆提案者として小学校中学年の部で増崎亜沙美先生(男川小)が出席されます。



◎東海地方数学教育会(愛知)大会第62回研究大会

日時 11月6日(金)

会場 ウィンクあいち、名古屋市立笹島小学校、名古屋市立城山中学校

☆提案者として中学校の部で栗山茂三先生(竜海中学校)、司会者として田中大貴先生(翔南中)が出席されます。

授業のひとコマ

「長さ(小学校2年)」実践

教科書 上 P30、31

導入の授業では、教科書の問題を物語を語るように、大きな絵を1つずつ提示しながら読みました。

『うさぎさんは海へ、りすさんは湖へ釣りに行きました。』

二匹は、釣った魚の長さを、電話でお話しています。

うさぎ 「ぼくは、げんこつ3つ分の魚を釣ったよ。」

りす 「ぼくの釣った魚は、げんこつ4つ分だよ。ぼくの方が長いね。」

『本当に、りすの釣った魚の方が長いと言ってもよいのかな。』



この問題解決を通して、子供たちはげんこつの大きさが違うから魚の長さを正しく比べられないことに気付くことができました。そして、正しく比べるには大きさが同じものを使って比べることが必要であることを理解しました。物語のようにして、問題場面を提示したことで、いつも以上に興味をもつことができました。

この後、自分が持っている鉛筆の長さ比べをしました。数図ブロックを用いて「数図ブロックのいくつ分」で比べる中で、数図ブロック(任意単位)を用いるよさを感じながらも、不便さにも気付きました。そこから子供たちは、数図ブロックではなく、普遍単位(1cm)の必要性に気付くことができました。これらを通してものさしによる長さの測定の場面では、普遍単位のよさを実感しながら、学習を進めることができました。

(文責 岡崎小学校 鶴野 なつみ)

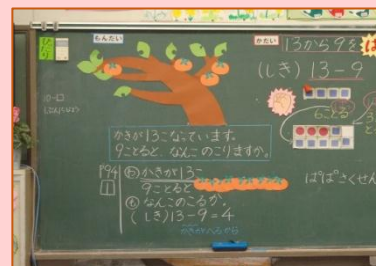
「くり下がりのあるひきざん (小学校1年)」実践

教科書 P102

減加法を使って $13-9$ のような繰り下がりのあるひき算を学習する授業のひとつです。繰り下がりのある計算の仕方は、いくつもの計算方法があるので、それぞれの計算の仕方の意味に気付かせたいです。

そこで、教科書のさし絵と同じように、柿の木と柿の実のイラストを用意して黒板に貼付し、実際に柿の実のイラストを取り除く操作活動を取り入れて進めることにしました。この操作活動と、数図ブロックを使った操作活動を通して、「数え引き」「減加法」「減減法」など様々な方法によって子供たちは残った柿の実の数を求めました。これらの方法を比較することにより、減加法が一番速くて簡単にできることを見つけました。その後、数図ブロックを使い、ブロックを動かすときに、子供たちに減加法が定着するようにそのブロックの動きを繰り返し唱えさせました。

また、子供たちの興味が続くように、「ぱっぱ大作戦」など言葉を工夫したので、より関心を示しました。



(文責 美合小学校 宗宮吉政)